

ソーシャルイノベーション・アカデミー【箱根 session】/ 10月28日(土)参加者募集中

「革新と継承、物の見方を変える方法」

日本初の外国人向けホテル、日本初の野外彫刻専門の美術館のある“箱根”を教材にソーシャルイノベーションアカデミーを開催します。箱根は、時代の変遷とともに大きくその役割を変え、また、他の地域に影響を与えてきました。およそ50年になる彫刻の森美術館は、開設当初、野外美術館というコンセプトが理解されませんでした。

環境の変化にどう対応してきたのか？

何を受け継ぎ、何を次に伝えていくのか？

どのように選択眼を培ってきたのか？

美術館がもつ場の力を使い、箱根人へのヒアリングと「記録」ワークショップを実施します。

開催日程：2017年10月28日(土)13時半～17時

集合：13時美術館入り口

会場：箱根彫刻の森美術館 「森のアトリエ」

参加費：5千円(彫刻の森美術館入館料込み)

*ピカソ館でのギャラリーレクチャー付

講師

◆大森 康宏氏 国立民族学博物館名誉教授

日テレ「世界一受けたい授業」講師出演も・・・

ゲストスピーカー

◆安藤 美奈氏 東京藝術大学非常勤講師、芸術祭などを多く手がけるアートマネジメントの専門家。

◆永井 泰山氏 公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団 事務局長



<http://socialinnovation.jp>



スケジュール

(1) トーク：

テーマ)

「旅館の文化財を伝える 一箱根の観光文化、地域資源の展開、継承を考える」

「日本初、彫刻を主題とした美術館の変遷～半世紀を経て醸成した文化とは？」

(2) 実践：ヒアリングと撮影

本セッションは、イノベーションは革新と継承、その選択の連続にあると考え、その選択眼を記録(映像人類学)の考え方から学ぶものです。

申し込み先：<http://peatix.com/event/312578/>

お問合せ：seminar@socialinnovation.jp

主催：一般社団法人 DSIA/Durable Social Innovation Alliance (担当：服部、森田)

<http://socialinnovation.jp>